

凡そ本集編纂の體裁は舜昌以前の史籍に就きて其の著作、法語、消息、說話等の確として疑ふべからざるものは、收めて悉く之を本文に集録し、行狀、紀傳等にかゝる者は、之を附録第一に纂輯せり、其の眞偽詳ならざるものは、則皆一併して之を附録第二に編集し、人をして玉石同架の中に自ら瓦礫を捨て、以て珠玉を拾はしめんとを期望し、兼ねて亦學者をして蕪蕪を辨じ、涇渭を分つの料に備へしめんと欲するなり、希くは我が大師上人の深重の冥護を得て、彌、遺教の八紘に光被せんとを祈ると云ふ。

明治三十九年六月

編者の一人 望月信亨謹識

明治三十九年七月十二日印刷

明治三十九年七月十五日發行

法然上人奥附

特製正價金貳圓五拾錢
上製正價金貳圓
並製正價金壹圓八拾錢



著者 黑田眞洞
著者 望月信亨
發行者 伊藤祐晃

印刷者 石川金太郎
印刷所 東京市京橋區西紺屋町二十六七番地
株式會社 秀英舍
東京市京橋區西紺屋町二十六七番地

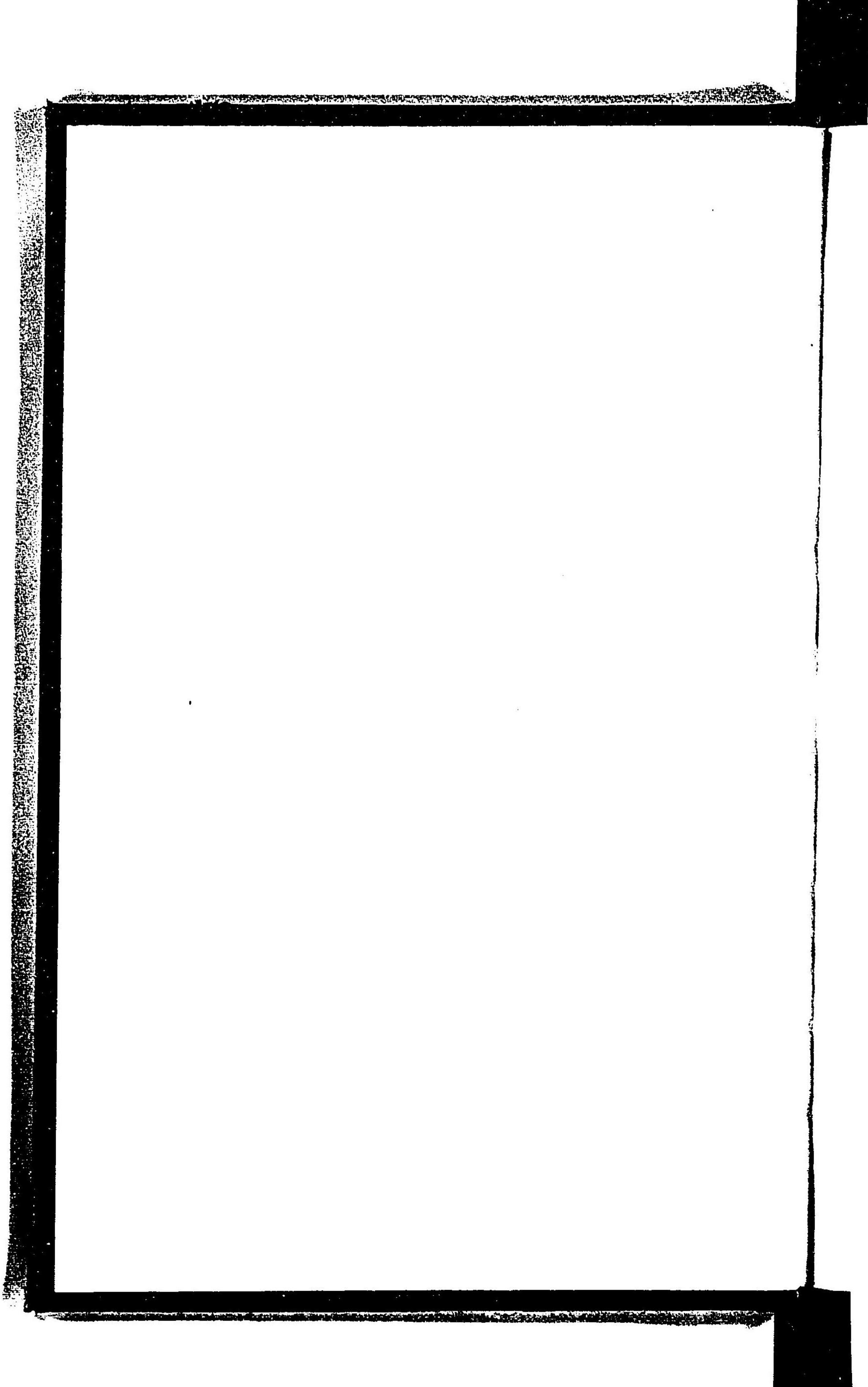
發行所

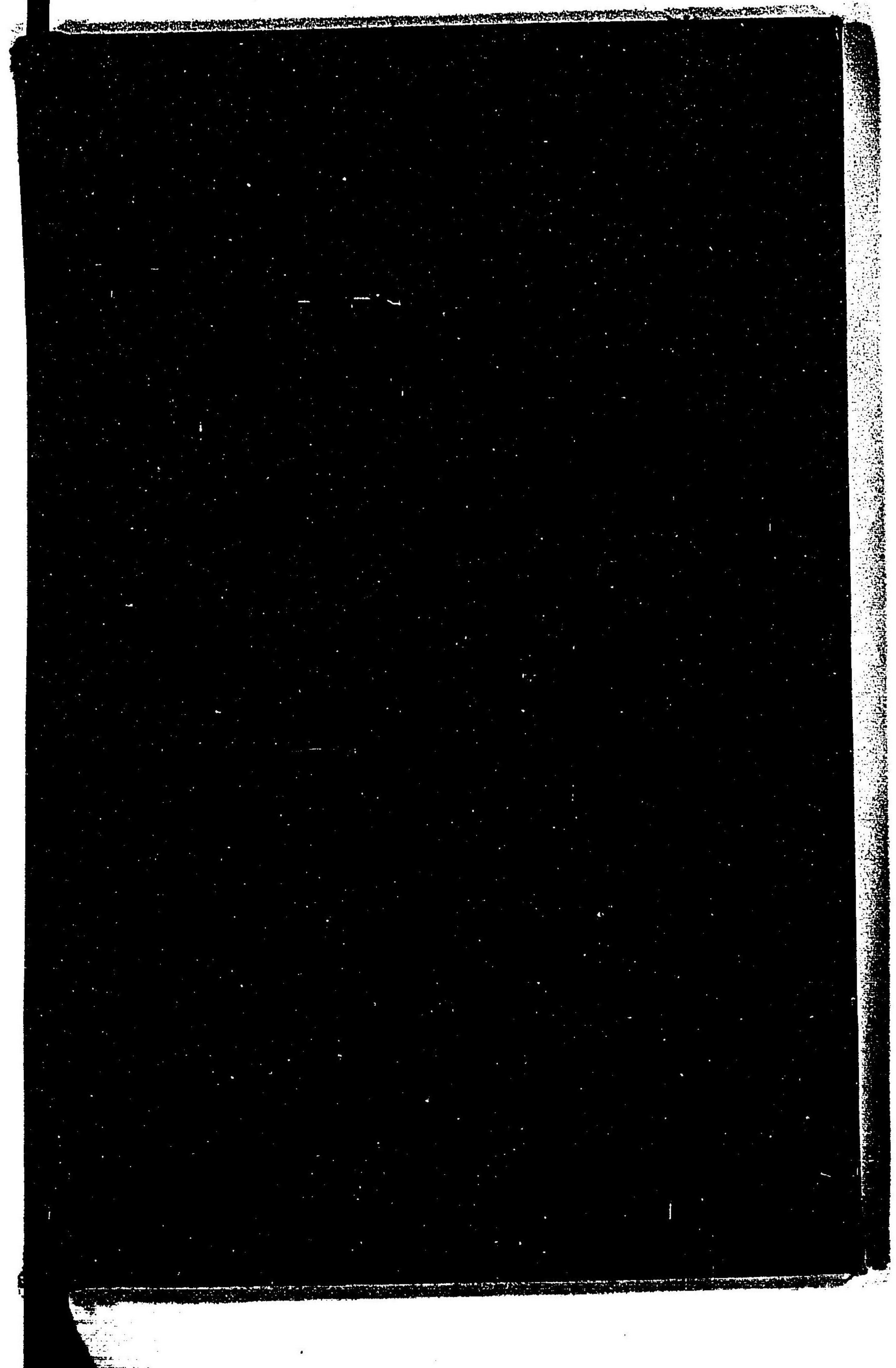
宗粹社

京都市下京區寺町松原上ノ京極町三十六番戶

990







188.6
G29h
K

019101-000-8

188.6-G29hK

法然上人全集

黒田 真洞

望月 信亨 / 編

M39.7

ABF-2643



